



徳島絶版 バイクミーティング

2017 4/16 sun

主催はBRC



主催は毎年お馴染みからワークスでもお馴染みの絶版バイク部会徳島県BRC。ヨソフォアのレーサーやFXのソロ系パーツで有名な、新・代表の渡邊社長(スージー中実)が関与の開催でミーティング開催だ!



もちろん会場の多くはカスタム系が多いけど、みんな個性たっぷりな台と異質なバイクが揃い、のびのびと、みんなセンス豊かになっているんだよね~

当時もの(度)ヘルメットを履いて、絶版バイクでミーティングに乗る癖は一度やるとやめられない? こちらはCB750Kだ

やりにくいピッカピカのCB750Fの、後ろのゴールドもピッカピカで友人路上で乗っかるとなるバイクへの愛を感じるとね



パンスムートデザインの、おしい虎でも斬新で、こういう食卓でも美形の虎を履く、オーナーみにカスタムされてさらに個性が光っている

美Zの750代とも異なる、Z750FX、チタンマフラーやフロントフォークやスイングアーム、ホイールなど変更されていてかなりシブい方、カッコいい!



来場者を楽しませる各種催し物も

ミーティングの楽しみ方は行く、得るのりを楽しむと地元のおいしいものを食べるなど様々だけど主催者が行うイベントも楽しいもの。今回はバイクでこんなことが出来るの?の先山選手を代表に行うエクストリーム。時にはFXやヨソフォアを使って披露!!メインMCは和田ボリスと大塚圭美が軽妙なトークでバイクを紹介したり、最後はじゃんけん大会で商品をゲットと1日過ぎないイベントだった



エクストリームでは、なんとFXやヨソフォアでもアクロバット走行を披露していた

西日本の絶版車揃う!!

カスタム系3ストバイクも多く登場していて、乗るときや乗るときは独特の気遣いを覚悟して乗る理由は、それだけで乗ってみたいと思ったしやうと



バイクの時間をショップの方々と楽しい掛け合いで紹介して案内を申し添えていた



特別のじゃんけん大会では豪華賞品をゲット!!大塚商品が当たった人ばかりと報道してくれるそうだから記録用





特徴的な異色ヘッドライトのから、丸目に塗られたCIPの400cc。これだけでイメージが異なるよな

青のスクーターのイルミにゴールド色のカスタムパーツを随所に取り入れている



サイレンサーに「ゼンシンのスクーターを組んだツッパ」を、前後両方付けさせたのが残念なほど、こちらもいい音するんだらうなへへ全体的な雰囲気もほっこり決まっています



インターカラーとエキゾーストパイプを流した、D2ターボ。このいった感じのバイクも、選んでいるから、モチベーションは来ているみんなのバイクを見てだけでも楽しいよな

カスタムの楽しさ!!



こちらはオリジナルの景色を忠実に、ツッパ用、乗る機会などのためのカスタムが施されたCB750Four。道を走っている姿を見てもあったよな



徳島絶版バイクミーティング

こちらはカスタムタンクを取り付けたCB750Fourだが、当時のツルムットバイクは多く集まり、いいスタイルって言うの楽しみも分かります

こちらもBEE7パーツが各所に取られているCBX400F、フレームを良く塗装しているけど、ボディカラーと合わせてイメージがのりと異なるもんだよね



浴槽ものパーツが取り入れられた。なんともいい雰囲気を感じ出しているよな。なんのオウオが出ているというか、残念なのがオーナーさんとは話が出来るよな

モチベーションも高くてツーリングでも走るから、目的地を持ってここの辺りの方も楽しいな。コンフォアも喜んでるんだらうな

こちらはBEE7パーツ満載の異色、クリップオンバンドルが取り入れられている



ショップブースで新たな発見も!!

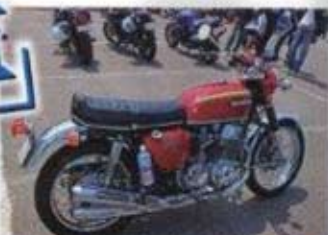


Rワークスバイクでもお馴染みのPMOやRPM、そしてアゲインと有名ショップが休日に参加して、そこから、ショップクオリティーバイクもたくさん、オリジナルのパーツなども手に入っています

イベントのもう一つの楽しみは、有名ショップが来て本で見たデモカーなどが近くで見られることや、ショップの人と疑問に思っていることや、パーツの効果などの話をしたりできること。徳島絶版バイクミーティングでは全国で有名なショップが来ているから、楽しみはつきないよ

个性的な「旧車」 が四国・徳島に集合

こちらが当時のパーツでカスタムされたZと高はCB750Four。塗装はこの2台のバイクが多かったように見えました



こちらのオーナーさんとは話し出来た一とってでもキレイなバイクです。どうも外せない時勢があり最近に会場を出て帰るに



仲間同士かや7オレンジのマガ1とブルーのGT750。塗装しているのはフロントフォークと前後ホイールが同じような一それにしては決まっているね



リヤダンパーのレイアウトもブレーム周りのメニューの一つ。ダンパーの角度変更による乗り味は多くのライダーに愛されるという



こちらはダンパーではなくオリジナルマフラーを装着していますが、これはこれでもオリジナルバイクの雰囲気をキープ



Gワークスバイク賞は



ヨソア!!

今年のGバイク賞はヤマダマシンでチューニングしてレイアウトも素晴らしいバイクも多かったが、今回の選考は、バイクの乗り心地や見た目、そしてバイクの歴史や文化を大切にしているバイクに決まりました

魅力的なバイクがホントにたくさんだから選ぶのが大変なんですけど、今回はヨソアを定回り、エンジンなど走り系にカスタムしていた伊藤さんに決定!! サイドの革のバックもかなりポイント高くて、これにも引き寄せられました



1車スズキから後部DC 8X1000のエンジン、6Dのマフラーを取り付けています。前後ホイールが揃っていたりカラーリングも統一されていてとても魅力的。思わず、買入ってしまいたい



こちらはカラーリングからするとRZ250。シングルディスクだし、とてもキレイな状態を保って乗ってらっしゃいますね



Z1のデザインを再現し、色味も主人好みにカスタムしているのは好感が持てます。この色とこのカウルはやっぱり外せないね

いろいろなバイクに出会えるミーティング

西日本は様々なスポーツあり、バイク好きがとて多しから流石語を通って四国にも入るルートも意外とメジャーなルートと聞いたら、そういう人たちがたくさんいるんだから、このイベントも開催しようというのかもしれない。立派なバイクも来たりから、これだけの盛り上がりを見せるものがあるって、面白そうだから友達を誘ってみたいよ

Gワークスのブースも



今回はサンズに入社イベントを兼ねて会場でも参加の機会があった。17年Gワークス20周年記念イベントも開催してよかった